# 著者紹介

**米田 幸夫(正会員)**

1922年生。1944年東京帝国大学第一工学部応用科学科卒業。大学院特別研究生を経て、同助教授、合成化学科教授、1982年定年退官、.983年東海大学開発技術研究所教授、現在にいた る。工学博士。東京大学在職中の専攻は工業触媒化学と情報化学、現在は専ら情報化学。主な研究対象は化学の論理に基づくエキスパート・システム、CHEMOGRAMの主要サブシステム、EROICA、STERIC、GRACEの完成と、化学構造式の自動認識サブシステムとこれらとの統合。現在、情報知識学会長、また、科学技術庁調整費、「化学物質等設計のための知識ベース・システムの研究」の推進委員会委員長。

**藤原 譲(正会員)**

1933年生。1957年東京大学工学部応用物理学科卒。(株)クラレを経て、1976年より筑波大学電子情報工学系教授となり、現在に至る。理学博士。データベース構築、情報構造解析、情報モデルなど基礎情報学の研究を行っている。最近は電子出版、特にCD-ROMを利用して、データベース・知識ベースを統合化した情報ベースシステムの開発を行っている。情報処理学会、情報科学技術協会、電子情報通信学会、人工知能学会、AAAI, ACM, ACS, ASIS, ASTM, IEEEなどの会員。編、著、訳書は、データベース概論(丸善)、科学大辞典(丸善)、科学技術用語辞典(三修社)、情報科学の基礎研究(オーム社)他。

**名和 小太郎(正会員)**

1931年、東京に生まれる。1956年、東京大学理学部物理学科卒業。1964年、工学博士。1960年、旭化成工業(株)に勤務。1977年、(株)旭リサーチセンターに移り、現在、取締役。公職として著作権審議会専門委員。統計審議会専門委員、科学技術会議専門委員、日本データベース協会副会長、法とコンピュータ学会理事などを歴任。著書に『電子仕掛けの神』『情報を商品にする方法』『技術標準対知的所有権』など。

**次田 晧(正会員)**

1928年生。1953年大阪大学理学部化学科卒業。理学博士。1959-1962年、カリホルニヤ大ウイルス研究所所員。1962年、大阪大学蛋白質研究所助手。1963年同大医学部助教授(遺伝学)を経て、教授(分子遺伝学研究施設)。その間、ハーバード大学化学部研究員、オレゴン大学分子生物学研究所、プリンストン大学生物客員教授、1972年バーゼル大学客員教授、引続き1978年EMBL主任研究員、1985年より現職。スイスバーゼルアカデミー会員、EMBO会員、CODATA執行委員会役員、日本蛋白工学会副会長。

**クリシュナマチャリ・ジャヤンティ**

1978年、マドラス大学(インド)電子工学卒業。5年間、タータ・コンサルティング・サービス(インド)のソフトウェア部門に勤務。1988年、東北大学工学部大学院情報工学科修士課程修了後、現在グラフィカ社(日本)にソフトウェア・エンジニアとして勤務中。コンピュータ・グラフィックス、パターン認識、AIの研究に従事。

**鈴木 昭浩**

昭和62年東北大学工学部電気工学科卒業。平成元年同大大学院情報工学科修士課程修了。文字の自動認識に関する研究に従事。現在NTT

社内情報システム開発センター勤務。

**金井 浩**

昭和33年生。昭和56年東北大学工学部通信工学科卒業。昭和61年同大学院博士課程修了。工学博士。同年東北大学情報処理教育センター助手、昭和64年同大学工学部電気工学科助手。平成2年同大工学部講師、現在に至る。音響信号などの電気計測とディジタル信号処理、パターン認識に関する研究などに従事。昭和62年度石川賞、平成元年注目発明、平成2年日本音響学会学術奨励賞受賞。日本音響学会、電子情報通信学会、日本機械学会、情報処理学会、超音波医学会、日本ME学会、IEEE各会員。著書「SASへの招待」(共立)(共著)。

**秋山 庸子**

昭和43年宮城学院女子短期大学卒、昭和44年東北大学大型計算機センター、昭和58年同情報処理教育センター勤務。コンピュータ・システム運用一般に当たる。

**川添 良幸(正会員)**

昭和45年東北大理学部物理第二学科卒業。昭和50年同大大学院博士課程修了。理博。同大教養部助手、同大情報処理教育センター助教授を経て、平成2年同大金属材料研究所教授。その間、昭和56年マックスプランク研究所員として西ドイツ在住。61年西オーストラリアWACAE客員教授。物質設計、原子核物理、並列計算機、文字認識等の研究に従事。著書「コンピュータ概説」ほか多数。日本物理学会、電子情報通信学会、情報処理学会等会員。文部省視学委員。

**木村 正行**

昭和29年東北大学工学部電気工学科卒業。昭和34年同大大学院博士課程修了。同年、同大学電気通信研究所助手。昭和37年同研究所助教授。昭和45年同大学工学部教授。現在、情報工学科に所属。システム理論とその応用、しきい値論理、学習オートマトン、視覚系のモデル(神経回路網)などの研究に従事してきた。最近、文字、図形、画像、音声などの認識・理解など、知能情報処理の分野に興味を持っている。工博。

**城戸 健一**

1926年4月15日生れ。工学博士。1948年東北大学工学部電気工学科卒業。東北大学工学部電気工学科卒業。東北大学電気通信研究所助手、同大学工学部助教授を経て、1963年同大学電気通信研究所教授、1976年応用情報学研究センター教授、センター長、1990年4月東北大学名誉教授、千葉工業大学情報工学科教授、現在に至る。音響機器、建築音響、騒音制御、心理音響の研究から始まり、現在はディジタル信号処理とその音響学および機械系の自動診断への応用、音声自動認識、パタン認識等の研究に従事。著書:音響工学(コロナ社)、ディジタル信号処理入門(丸善)、電子計算機原論(上下)(丸善)、音声の合成と認識(オーム社)等。日本音響学会、電子情報通信学会、計測自動制御学会、情報処理学会、韓国音響学会、IEEE、AESなどの会員、アメリカ音響学会フェロー。西太平洋地域音響学委員会委員長。

**塚本 啓祥(正会員)**

昭和4年生。昭和39年東北大学大学院文学研究科博士課程修了。文学博士。立正大学教授を経て、昭和55年東北大学文学部教授(印度学仏教史学)。著書「初期仏教教団史の研究」ほか多数。サンスクリット語写本の研究「梵文法華経写本集成」全12巻(共編)を完成し、これを底本としてコンピュータによるテキストのデータベース化を進め、その成果を「梵文法華経写本集成—ローマ字

本・索引」全14巻（共著）として刊行中。印度学宗教学会会長、多くの関係学会理事。情報知識学会・人文社会部会「テキスト・データベース連絡委員会」委員。

**長瀬 真理（正会員）**

1976年、都立大学人文科学研究科哲学科博士課程修了。東京女子大学情報処理センター助手。1980–82年、ブリティシュ・カウンシル給費生として英国マンチェスター大学古典学科留学。1990–91年、オックスフォード大学客員研究員。コンピュータによる文体研究に従事。Association for Literary & Linguistic Computing, トロント大学 Centre for Computing in the Humanities ほか各会員。

**梁瀬 三千代（正会員）**

1977年、立命館大学文学部史学科卒業。1981年、慶應義塾大学文学部図書館情報学科卒業。同年、東京大学情報図書館学研究センター勤務。その後、同大学文献情報センター、（株）エポックリサーチを経て、現在慶應義塾大学三田情報センターで情報サービス担当。研究課題：情報サービス。著書：『学術情報システムと大学図書館』（共著）紀伊國屋書店。三田図書館・情報学会、アート・ドキュメンテーション研究会各会員。

**桂 英史（正会員）**

1959年生。1986年、図書館情報大学大学院修士課程修了。同年、富士ゼロックス情報システム（株）に入社。1988年より学術情報センター研究開発部助手。現在、マルチメディア型電子図書館の研究開発に従事。とりわけ、マルチメディア・ドキュメントシステムの構築、マン・マシン・インターフェースの設計、情報資源管理の方法論などに興味を持つ。情報処理学会、人工知能学会、日本図書館学会、ACM 各会員。

**奥野 嘉展**

1954年生。1976年早稲田大学理工学部資源工学科卒業。1986年より富士ゼロックス情報システム（株）に勤務。現在、慶應義塾大学大学院経営管理学研究科在学中。経営組織論、オブジェクト指向概念に基づく経営環境のシミュレーション、オフィスオートメーションなどに興味を持つ。

**芦野 俊宏**

1962年生。1985年東京大学工学部原子力工学科卒業。1990年東京大学工学系研究科博士課程修了。同年新日本製鐵（株）に入社。材料データシステムおよび熱力学的手法を用いた材料の状態図計算の研究に従事している。統合化された材料開発環境の構築に興味を持つ。

**岩田 修一（正会員）**

1948年1月29日生まれ（千葉）。1975年3月東京大学大学院博士課程修了。1978年10月同大学工学部講師、1980年10月同助教授。1985年10月より1年間、西独 Fachinformationszentrum-Karlsruhe 客員研究員。現在、工学部原子力工学科核燃料工学講座助教授。卒業より一貫して材料設計のための計算機システムの研究・開発に従事。核融合炉材料、原子炉材料、核燃料を具体的な対象としつつ、材料開発全般に対する普遍的な手法を追求中。